

ジャカード編みは、リブニッターとヤーンチェンジャーを使用して編む、裏に糸の渡らない安定した編地です。U-BOXとデザイナー・ニットで編む場合では模様によって違いがあります。今回は、ジャカード編みの模様の作り方と編むときの設定方法です。

ステッチデザイナーで模様を作成

デザイナー・ニットは、色を分解し、編む順序を知らせます。色数は、6色まで使えます。

2色のジャカード編み

1. 「ステッチデザイナー」をクリックします。

ここでは、既存の編み模様を利用し、2色ジャカード編みにします。

(創作模様の場合は、2002年初夏号を参照してください。)

2. 「ファイル」メニューから「模様ファイルを開く」をクリックします。

「既存の模様」の中から「07. stp」を選択 → 「OK」

画面に模様が表示されタイトルバーのファイル名は **07. stp (28×22) - F**

注：ジャカード編みの場合、必ず偶数段の模様にします。

3. 「オプション」メニュー → 「編み方」 → 「編み方の選択」ダイアログボックスが表示されます。

「2-色ジャカード」を選択 → 「OK」 → タイトルバーのファイル名 **07. stp (28×22) - 2**

4. 模様の保存をします。

変わります

「ファイル」メニュー → 「名前を付けて保存」をクリックします。

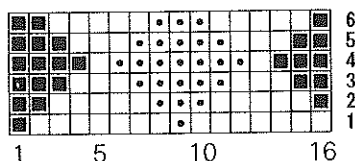
「ファイル名」に名前を入力します。 → 「OK」

注：既存の模様と同じ名前にならないようにします。又、ファイルには、編機の種類やジャカード編みの分解方法は記録されませんので設定しなくて良いです。

3色のジャカード編み

1. 「ステッチデザイナー」で下図の模様を作成します。

例 16目6段1模様
(好みの色を3色使います)



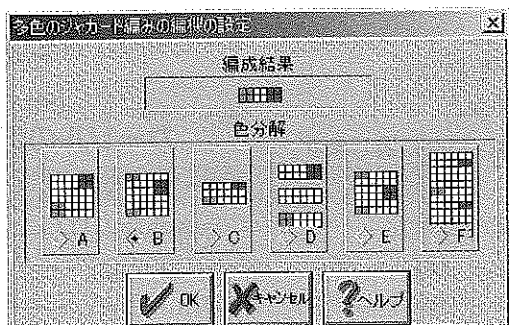
2. 「オプション」メニュー → 「編み方」 → 「3-色ジャカード」 → 「OK」……3色に設定されました。

3. 色分解方法を設定します。

「オプション」メニュー → 「編機」 → 「Silver Reed SK840, 500, 560……」を選択。

「設定」をクリック → 「ジャカード編み」 → 「多色のジャカード編みの編機の設定」ダイアログボックス

→ 「B」を選択 → 「OK」 → 「OK」 → 「OK」



注：シルバー編機の場合「方法A」か「方法B」を使います。

模様が2段毎で構成されていない場合は、「方法B」が「方法A」よりエラーの数が少なくなります。

4. ジャカード編みのエラー確認をします。

「確認」メニュー → 「ジャカード編」をクリック → ダイアログボックスのメッセージに従って操作しますが、エラーの無い場合は、画面右下に“0のジャカードエラー有り”と表示されます。

ジャカード編みの確認

「確認」メニューの中に「ジャカード編みの確認」があります。色分解方法がA又はBで1段の中に3色以上の色数を選択したときに使用します。2色ジャカード編みの場合は色分解のエラーが発生しませんので、する必要がありません。

5. 模様を保存をします。(2色ジャカードと同様)

以上がジャカード模様の作り方です。色数が増えても同様につくります。

デザイナー・ニットでは、色分解方法が違います。模様が2段毎の構成の場合U-BOXで編むものと同じになりますが、違う場合は、U-BOXで同じ模様にするにはむずかしいです。34ページのパターンコレクションの模様で確認ください。デザイナー・ニットで作成された模様の方が繊細でなめらかな表情になります。

対話式編み方で編む

1. 「対話式編み方」をクリックします。

- ① 「対話式編み方」ダイアログボックスが表示 → 「模様ファイルを開く」 → 「3色ジャカード模様」ファイルを選択 → 「OK」 → 「編地のサイズ」ダイアログボックスに「目数」「段数」を入力 → 「OK」

注：ジャカード編み「段数」は、模様の段数にセットします。成形段数ではありません。

- ② 「オプション」メニュー → 「編機」 → 「Silver Reed SK840, 500, 560……」 → 「設定」 → 「オートチェンジャーを使用」にチェックを入れます → 左下の「ジャカード編み」 → 色分解「B」を選択 → 「OK」 → 「シルバーリンク4を探す」をクリック

「おしらせ」ダイアログボックスが表示されCOMに検知したことが表示されます。

「OK」 → 「OK」 → 「OK」 → ①の画面に戻ります。

続きは、2003年春号の19ページを参照してください。

注：色分解「B」では、キャリジスタート方向は右からになります。色分解「A」では、左からになります。

お知らせ

シルバーリンク4のコネクターは、固いので何度も脱着をくり返すと接触不良が起きやすくなります。シルバーリンク4とDINケーブルは接続したまま収納ください。

